

課題1 言語活動の充実を図るために工夫された事例

- 家族に関わる法律について、高校生の周りに起こりやすい事例をグループ活動をとおして考えさせて興味を持たせる事例
- 調理実習において、卵の調理上の特性を生かした実習から比較・考察をさせる事例
- 家事労働と職業労働について、事例から考えた会話文で、ロールプレイをグループ内で行い他者の考えと比較し、思考を深める事例
- 課題研究において、生徒が主体的に課題やテーマを設定し、課題の解決を目指して研究を行う事例（調理実習において、低カロリー食や野菜の摂取量を増やすように個々で考え、グループで共有し創意工夫した料理を作る。さらに、作った料理を一般の方々に提供することも考えて企画書作りや原価計算、宣伝などについて考えまとめる。）
- 生活産業基礎において、人々の求める付加価値の高い商品やサービスの提供について意見を発表する事例
- 子どもの家庭内事故を防ぐために具体的な事例をもとに、マトリクスによりグループで考えを交流するとともに、クラス全体でも共有し、考えを深めさせる事例
- 手作り絵本の製作や読み聞かせにより、子どもの表現活動を活発にするために必要なことを考えさせる事例

課題2 社会の変化に対応した課題を題材とした事例

- 過去の食中毒の事例を新聞記事から提示し、食の安全について考えさせる事例
- 生徒が持参した食品の表示をもとに、表示の読み方や内容、情報について理解させ、偽装表示を見抜く力を身に付けさせる事例
- 近隣の幼稚園児との触れ合いや保育体験実習をとおして、子どもと適切にかかわり、子どもとのコミュニケーション能力を高めるための事例
- 新聞記事の活用や実物量の予測や提示により、野菜の栄養的特質を理解させるとともに必要とする野菜摂取量を満たすための方法や工夫について考えさせる事例
- サザエさん一家の10年後を想定し、生活上の問題点を話し合わせることにより、変化するライフサイクルに対応した住まい方を考えさせる事例
- 子育て中の母親にインタビューしたビデオを視聴し、子どもがかかりやすい病気とその予防について理解を深めさせる事例